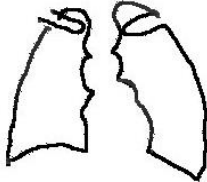
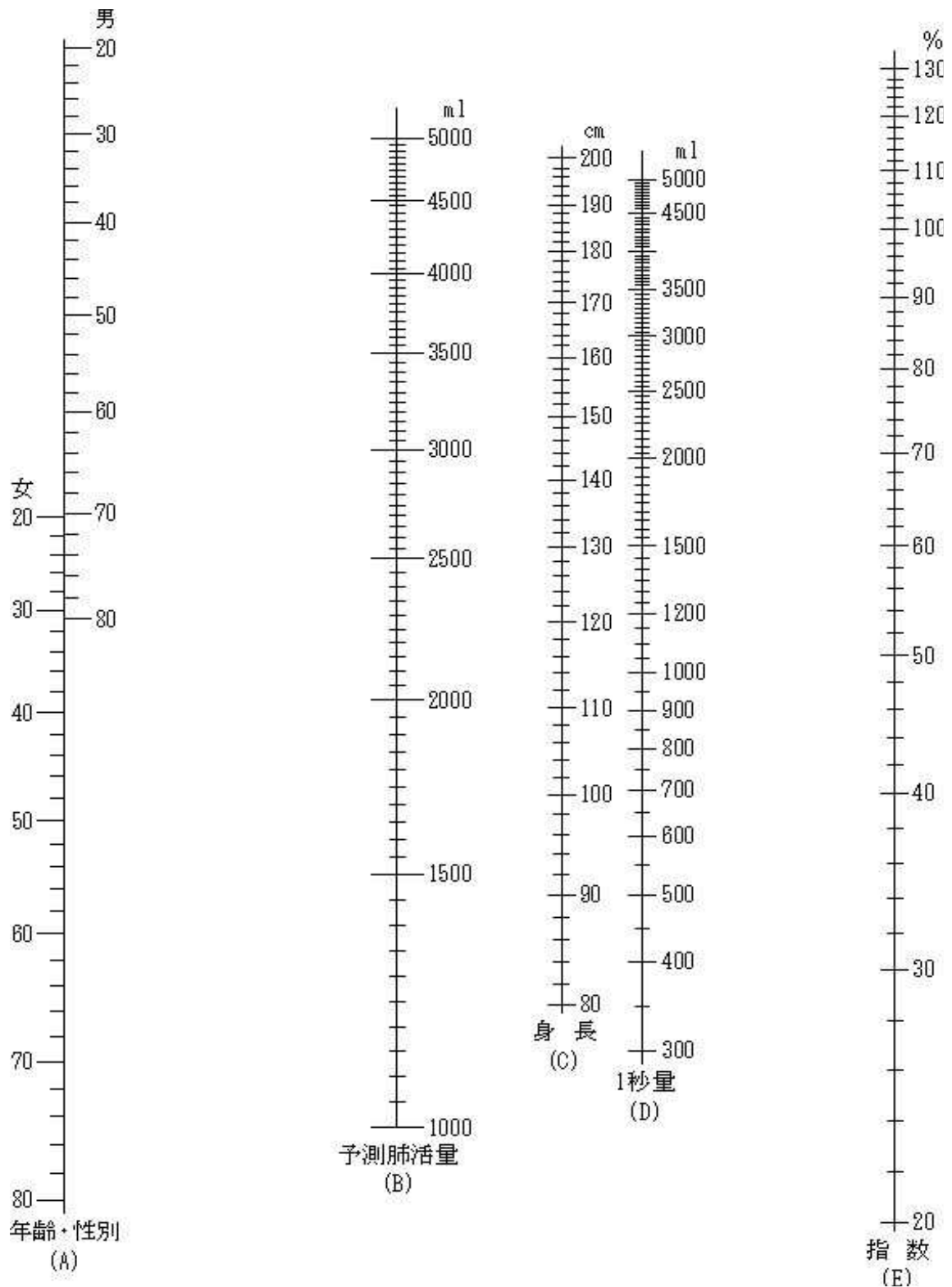


介助用車椅子・電動車椅子 補装具費支給意見書 (呼吸器機能障害者用)

氏名	男 女	生年月日	年 月 日生
現在までの 治療内容			
臨床所見			
胸部X線 所見	ア 胸膜癒着 (なし・軽・中・高) イ 気腫化 (なし・軽・中・高) ウ 繊維化 (なし・軽・中・高) エ 不透明肺 (なし・軽・中・高) オ 胸郭変形 (なし・軽・中・高) カ 心縦隔の変形 (なし・軽・中・高)		
身体計測	身長		c m、体重 k g
換気機能		ガス交換機能	
ア 予測肺活量	_____ □	ア 動脈血O ₂ 分圧	_____ mm Hg
イ 1秒率	_____ □	イ 動脈血CO ₂ 分圧	_____ mmHg
ウ 予測肺活量 1秒率	_____ %	(ア、イについては裏面のノモグラムを使用してください。)	
活動能力の 所見	ア 階段を人並みの速さで昇れないが、ゆっくりなら昇れる。 イ 階段をゆっくりでも昇れないが、途中休み休みなら昇れる。 ウ 人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。 エ ゆっくりでも少し歩くと息切れする。 オ 息苦しくて身の回りのこともできない。		
意見	手押し型車椅子・電動車椅子の使用は (適当・不適当) である。		
以上のとおり意見する。 年 月 日 医療機関名 医師氏名 意見書作成医の資格 □ 身体障害者福祉法15条第1項に基づく指定医 □ その他()			



[ノモグラムの使い方]

- 1 (A)と(C)から、(B)上に **Baldwin** の予測式による予測肺活量が得られる。
(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。
- 2 (D)を1秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。
- 3 (B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の1秒率が得られる。